原稿ご寄稿のお願い

大阪救急

「大阪救急」に掲載する原稿を募集します。下記を参考に投稿してください！

* 次号の発刊：令和5年11月予定。
* 応募対象者：救急病院・診療所等の医療従事者（医師・看護師・事務職等）
* 原稿内容：① 救急医療に関する研究論文・研究報告・調査報告・参考資料・

海外論文の紹介等

② 医事論文　救急医療に関する事務処理の事例・分析データ等

③ 救急医療に従事して体験したこと

④ その他、日常生活での出来事など

* 応募様式：❶ 上記 ①・② は、字数及び枚数の制限はありませんが、必ず

「参考文献」を記載して下さい。

➋ 上記 ③・④ は、PCのWordで1,000字もしくは1,200字（写真、

データ等は含まない）を目安にして下さい。

* 注意事項：原稿①・②は、法人名・病院名・氏名は必ず明記して下さい。

　　　　　　原稿③・④は、ペンネームでも結構です。

（但し、投稿の際には本名を書き添えて下さい。）

* 応募方法：電子メールに原稿ファイルを添付の上、件名に「大阪救急　原稿」と

　　　　し、下記のアドレスへ送信して下さい。

**info @ oel . or . jp**

　※郵送の場合は、原稿ファイルをCD-ROM又はUSBに保存し、

　　　　　　　　　紙原稿と共にお送り下さい。

* 原稿の別刷：有料（希望者の負担）となります。基本部数は30部以上です。

 お見積り等詳細は事務局へお問い合わせ下さい。

**下記の点は、予めご了承下さい！**

🔷 原稿は、返却致しません。

🔷 編集委員会にて、原稿のタイトル及び内容の一部を修・補正する場合があります。

**㊟『論文執筆規程』8.の様式の一部が変更になりました。ご注意下さい。**

【論文執筆規程】

1．固有名詞以外は出来る限り「日本語」でお願いします。

　 和訳が困難な場合は、カタカナで表記して下さい。

　≪例：baloon catheter →　バルーンカテーテル≫

2．一般化された略語を除き、略語使用の際は文中の最初の箇所でフルスペルを記載し、可能ならば和訳も付けて下さい。

　 ≪例：腎血管筋脂肪腫（Renal angiomyolipoma, 以下RAML）≫

3．商品名には右肩にⓇマークを付けて下さい。また、出来るだけ一般名と併記して下さい。 ≪例：セラミック（バイオクリームⓇ）≫

4．患者情報を掲載する場合、月日及び他の医療機関名等は「個人情報保護」のため記載しないで下さい。

5. 文中は「,」「.」を使用せず、句読点（「、」「。」）を使用して下さい。

6．文中に図表番号を示す場合は、括弧を付けて下さい。

　　≪例：（表1）、（図1）≫

7．図表を掲載する場合は、図の下に番号と説明文、表は上に番号と説明文を記載して

下さい。

 　 例：　　　　　　　　　　　　　　 表1　血液の～

　　　　 　　図1　血液の～

8．参考文献の記述は下記の様式に倣って下さい。

　 A：雑誌の場合

　　著者名（3名以内）：題名, 雑誌名；発刊年,号（巻）：始頁-終頁

　　著者が3名以上の場合は、3名記述後に　ほか、et al をつけて以下省略

　　≪例≫＊奥村禎三、坪井声示、牧山友三郎ほか：（バイオクリームⓇ）の頭蓋形成術の応用性について,　脳神経外科；1984,12：240-252

　　　　　＊Willkinson SP，Dabis MH，Portman B，et al：Renal failure in otherwise

　　　　　　Uncomplicated acute viral hepatitis，Br Med J；1978，2：338-341

　 B：単行本の場合

　　著者名（3名以内）：章名，書名．編者名．出版社名，地名；発刊年：始頁-終頁

　　≪例≫＊西村清司：救急に必要な検査，救急治療の実際．梅山　馨，藤森

　　　　　　頁編．世界保健通信社，大阪；1978：586-607

　　　　　＊Hasley MW，Eger EI II，Kent DW, et al：High pressure studies of Anesthesia，Progress in Anesthesiology．Volume 1．Edited by BR Fink Raven Press，New York；1975：353-362